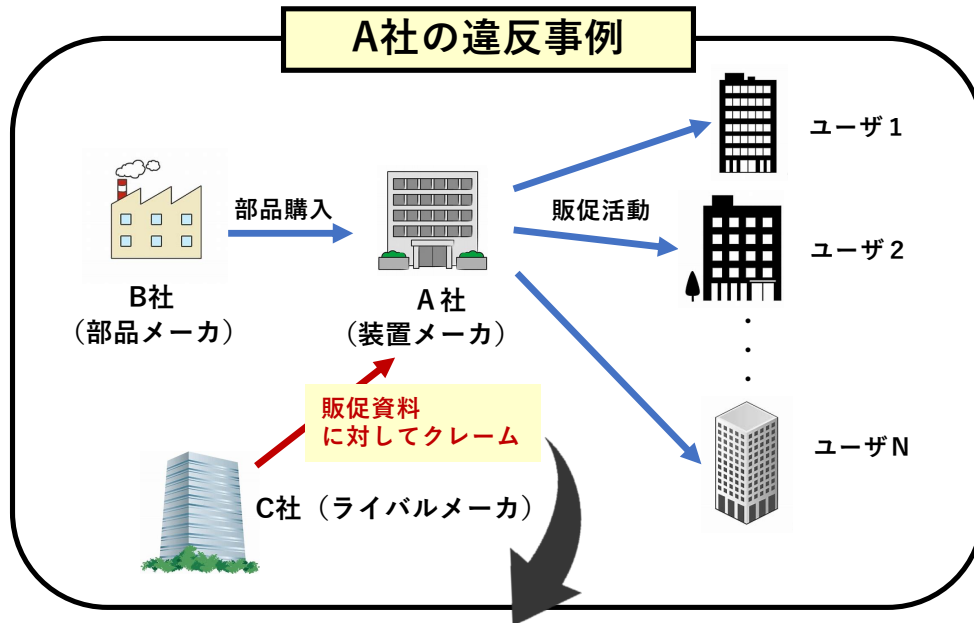
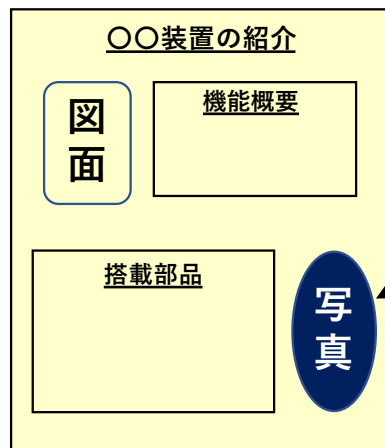


リスクマネジメント支援サービスの具体例

— コンプライアンス違反を犯さないために —



A社販促用カタログ



C社の著作権を侵害している!

社内調査

A社カタログ作成者の証言

この写真は、B社から購入した部品の取扱説明者に載っていたものをそのまま転用した

事実確認

B社に事実関係を問合せた結果、

B社の担当者がインターネット上の写真を無断で使用したことが判明

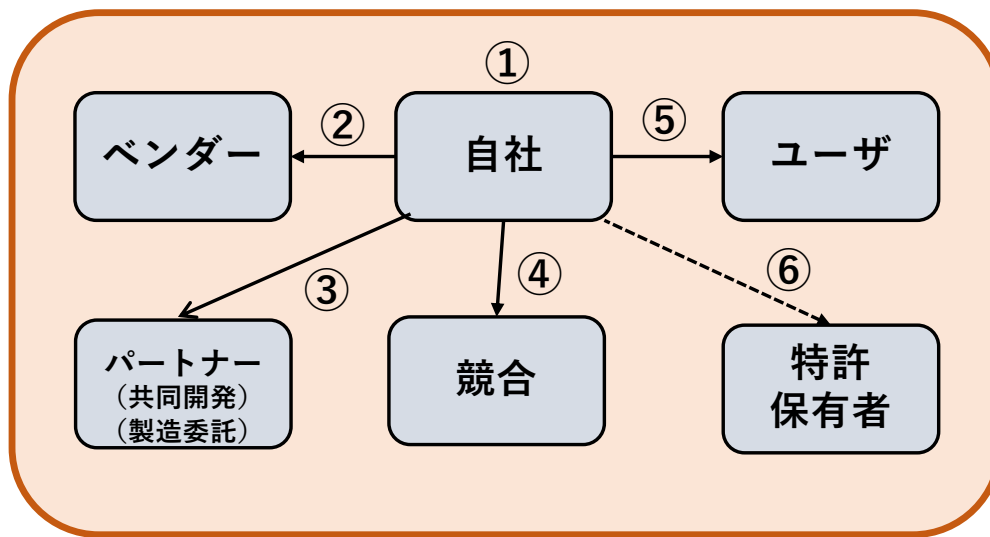
A社の対応

- ・ C社へ謝罪した上、ユーザに事情説明して、販促用カタログを全回収
- ・ C社の要請に従って、著作権侵害の謝罪広告をHPに掲載
- ・ 株主へ謝罪し、B社との取引を停止

「悪いのは自分じゃない」では済まされないのがコンプライアンス

支援サービスの範囲と内容（知財環境の例）

サービスの範囲（全ビジネス領域）



サービスの内容（主なチェックポイント）

①

- ・ コンプライアンスに関する行動規範、社内規程、ルール等の確認と査閲

②

- ・ コンプライアンス関連規程類の確認
- ・ 取引契約の査閲（緊急事態への対応等）

③

- ・ コンプライアンス関連規程類の確認
- ・ 契約書類の査閲（協力体制、解決手順、等）

④

- ・ 相手特許等の侵害予防策実施の確認
- ・ 係争への事前備えに関する判定と指示

⑤

- ・ 他社権利侵害時の説明責任と対応法、及び、補償範囲の確認と判定

⑥

- ・ 他社特許等の調査状況チェック
- ・ 障害特許等への事前対策の確認と判定

注) 社内だけでなく、ビジネス全体からリスクを洗い出すこと！